

§ 永吉奨学会とは

第9期卒業生永吉信夫氏が母校の発展に寄与すべく浄財をもって平成26年6月に設立されました。学業が優秀であり、向上心を持つ生徒への奨学金の給付と文化部の中から、部活動に必要とする物品の購入への給付を行います。毎年度150万円の資金を20年間にわたり給付します。

§ 永吉信夫氏について

氏は父の仕事の関係で小中学校時代は何度も転校になり、唯一高校3年間は國學院大學栃木高校で過ごした。在学中は新聞部部長として、市内5つの公立高校との交流研修会で中心的な役割を果たし、精力的に活躍した。中央大学に入学、さらに和光大学人間関係学部へ編入し、自らの学問を深められた。大学卒業後は中学受験専門の家庭教師派遣会社「麻布個人指導会」を設立。生徒たちが十分な学力を付けられる指導をという理念の下に本格的な家庭教師派遣事業を展開された。学生講師を一切採用せず、プロ教師のみを起用するなど若者の人材育成に対する氏の並々ならぬ思いは多くの人々の共感を呼び、支持を得ていた。氏の仕事柄、母校への関心は高かった。平成25年に病魔におかされ、病床から同期の仲間と学校と協議を重ね、翌年永吉奨学会を設立することができました。志し半ばでしたが、平成26年8月5日に逝去されました。

令和 5 年度 永吉奨学会 報告

令和 5 年度の奨学金支給については、永吉奨学金給付規定に則り、以下の通りに支給しました。

① 文化部(書道部、囲碁・将棋部)に対して、諸活動に必要な道具等の購入のための支給

● 書道部

アートプレス(裏打ち機) 700,000 円

● 囲碁・将棋部

シチズン対局時計 33,000 円

日本棋院 幽玄の間 会費 26,400 円

9. 13路盤(基盤のみ)+配送料 8,100 円

本榧 1 寸卓上基盤セット+配送料 26,480 円

② KT ベクトルプロジェクト(学力最上位層の指導)に対して、さらなる学力向上を目指し、書籍代や通信添削の費用として支給

書籍 29,063 円

Z 会通信添削受講料 330,000 円

合計 1,153,043 円